

-----2月3日-----

※ 今週のアウトルック (2/3~2/7)

先週は、新興国の混乱などでリスクオフ的な状況がいささか進み、動きづらい状況が続いています。

今週は米国雇用統計の発表を控える中、週初は小動きな状況も予想されます。週末の発表が、前月よりさらに改善という予想が多いため、逆に期待はずれに終わった場合の反動も、大きなものになってしまう可能性があります。

NYダウの動きなどにも十分な注意が必要です。

先週ドル円は、102円ギリギリのところできっと踏みとどまっている感があります。今週前半はこのペースを維持しそうですが、米国雇用統計の結果に大きく左右される可能性が高いように思います。

101円から102円のレジスタンスラインを大きく割った場合には、急落の可能性が浮上してくるようには思います。

ドル円の予想レンジは100円から104円です。

ユーロ円は、インフレ率の鈍化などから、先週末に138円を割って終了しています。今週はECBの対応に焦点が集まっているようですが、期待に添えるような内容でなかった場合、一気に132円付近までの下落の可能性も浮上してきます。

ECB関係の要人発言にも、十分注意する必要があるように思います。

ユーロ円の予想レンジは131円から142円です。

ポンド円は一時的にせよ、調整する可能性が高くなっているように思います。今週、167円付近のレジスタンスをキープできるかが、ポイントとなりそうです。

ポンド円の予想レンジは165円から170円です。

今週は米国雇用統計や、ECBのデフレ対策、新興国の状況などが注目されそうです。状況的には、一気に円高に動くケースも想定しておく必要があります。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。